



目には見えない大切な「心」の育成

校長 松久保 鉄也

先日、大学受験を舞台にしたドラマが最終話を迎えました。日本の最高学府といわれる大学を受験する高校生と指導者の物語です。その中で、合格するためのテクニックが数多く登場したのですが、中には、学習に直接関係のないものもありました。

例えば、「規則正しい生活を送る」。受験当日のスケジュールに合わせた、規則正しい生活を送ることで、受験当日をいつもと同じ状態で迎えることができるのだそうです。当然、いわゆる学力を身に付けることが大事でしょうが、それを支えるための見えない部分も同じくらい重要なのでしょう。



見えない部分の大切さと聞いて、私には思い出す書家・詩人がいます。それは、相田みつをさんです。相田さん、独特な筆遣いで書かれた詩が掲載され、その内容は多くの方々に生き方を考えさせるきっかけとなりました。その中から2つ紹介します。



一つは、花についてです。私たちは、花を見て「きれいだ」と思いますが、その花を支えているのは茎・幹、そして根です。私たちの目に触れにくい「根」があってこそ、美しい花が咲くのだと伝えていきます。また、私たちの生活に欠かせない水道と下水道も、目に触れにくい地下にあることも詩にしています。この二つ目の詩は、『見えない部分の大切さ』を教えてください。

私などは、美しい花を見てもそれを支えている根の存在を考えることは全くありませんし、ビルや家の中でも、目に見える水道にすらありがたみを感じたことはないような気がします。皆さんは、いかがでしょうか。

では、子供たちにとって大切な見えない部分、いわゆる「心」には、どのようなものがあるのでしょうか。私は、以下の4つの心があると、考えました。

我慢する心、続ける心、思いやる心、挑戦する心 など

そして、この「心」を育てる最大のチャンスが、もうすぐやってきます。そう、夏休みです。長期の休みです。日頃できないことを、実践することができます。

- 思いやりと続ける心 → 家事の分担
- 我慢する心 → 起床時刻やゲーム時間の厳守
- 挑戦する心 → 祖父母・親戚宅への一人旅
- 挑戦と続ける心 → 体力作り、読書



私のおすすめは、家事の分担です。家事は、家族みんなが快適に生活するために行う仕事です。必ずしも、大人がする必要はないわけです。子供でもできることはたくさんあります。それを「手伝い」ではなく、「分担」として家族全員で行うことが大切です。子供に遠慮なんかありません。家族一人一人が、家族を支えることは当たり前だし、必要なことです。



最後になりますが、怪我や事故・新型コロナウイルス感染に十分注意しながら、子供たちが豊かな体験を通して、目には見えない「心」を成長させる夏休みであることを願います。

感染症感染対策をしっかりと

各地でワクチン接種が進んでいますが、新型コロナウイルスの感染が、収まりを見せません。

このような状況の中で、もうすぐ夏季休業が始まります。親子で外出する機会も増えると思いますが、感染症予防には、これまで以上に緊張感を持って取り組む必要がありそうです。一人一人ができることには限りがありますが、一つ一つ確実に取り組んでいきましょう。

自分でできる感染予防

- ① 人混みへの外出はできるだけ避けましょう。
- ② 外出時はマスクを着用しましょう。
- ③ 外から帰ったら、丁寧な手洗いや手指の消毒をしましょう。
- ④ 十分な睡眠、適度な運動、バランスの取れた食事で免疫力を高めましょう。

自分の命を守るスキルを学習

6月25日、B&G海洋センターの方々を講師に迎えて、「水辺の安全教室」を実施しました。

今年度も、紙芝居で、水の事故の怖さや事故を防ぐ方法を学びました。次に、実際に着衣のままプールに入り、水に浮くコツやペットボトルを使った救助法などを体験しました。衣服を着ると、水の中ではとても動きづらいことを実感したようです。まずは、保護者の方と一緒に泳ぎ、事故が起きないようにして下さるようお願いいたします。



「8020」を目指して

「8020運動」をご存じですか。「80歳まで、自分の歯を20本残す」ことを目指した運動です。現在、子供たちは約10歳。今から、歯や歯ぐきを適切にケアしなければ、目標の達成は難しいでしょう。また、自分の歯でものをかむことが、認知症の予防にもつながるという研究成果もあります。

本校では、町の歯科衛生士を招いての歯科衛生指導を実施しました。さらに、養護教諭が個別に指導も行っています。夏季休業中の歯磨きや治療へのご協力をよろしくお願いいたします。

鶴田小学校ブログQRコード

<http://tsurada.blog.fc2.com/>



学校閉庁日の設定について

8月11日(水)から8月13日(金)の3日間、さつま町の小中学校は「学校閉庁日」となります。この期間は、町内全ての学校が閉庁となり、電話等の対外的な業務、部活動、学校施設の開放を停止します。

事故や災害等の緊急時の連絡の受付、転入児童生徒への対応等については、町教育委員会が対応いたしますので、



0996-52-1230 へお電話ください。

なお、夜間の場合には、「楽しい夏休みを過ごすために」に記載してある校長・教頭へ連絡ください。

本校の教育活動を紹介

6月30日、さつま町教育委員会による学校訪問がありました。11名の方が来校され、学校経営の説明や授業参観を行いました。教育委員の方々からは、たくさんの感想が出されました。その一部を下記に掲載します。

- 校舎内外の環境が非常に素晴らしい。
- 子供たちが、落ち着いて真剣に主体的に学習に取り組んでいる。
- 靴箱やかばん棚・机上の整理整頓がしっかりなされている。

外部の方に、おほめの言葉をいただきうれしく思います。今後も、子供たちが輝けるように、教育活動を推進して参ります。

7月・8月・9月の主な行事

7月

- 20(火) 終業式 集団下校
- 26(月) 読み聞かせ会(10:00~図書室)
算数教室(~27日)
教育相談(~29日)

8月

- 2(月) 出校日
- 11日~13日 学校閉庁日
- 20(金) 出校日
- 22(日) 愛校作業



9月

- 1(水) 始業式
- 13(月) にこにこ家族会議週間(~19日)
- 9(木) 授業参観 学級PTA PTA常任委員会
- 14(火) 避難訓練
- 26(日) 秋季大運動会
- 27(月) 振替休日